



平成26年度補助事業等実績報告書

平成27年4月21日

函館市長 工藤 樹 様

補助事業者 函館市桔梗町379番地
公益財団法人函館地域産業振興財団
理事長 松本 榮

補助事業等の名称 函館マリンバイオクラスターフォローアップ事業

平成26年4月1日付け函経経をもって補助金等の交付決定を受けた上記の補助事業等は、平成27年3月31日完了したので、関係書類を添えて報告します。

記

補助金等交付決定通知額	金	4,500,000円
補助金等領収済額	金	4,500,000円
補助金等領収未済額	金	0円

補助事業等の実績書

<p>申請者の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・所在地：函館市桔梗町379番地（電話34-2600） ・名称，代表者名：公益財団法人函館地域産業振興財団 理事長 松本 榮一 ・設立年月日：昭和59年4月3日 ・営む主な事業：高度技術の研究開発、企業が行う研究開発に対する助成，企業の技術力向上の推進及び人材の育成等
<p>補助事業等の内容</p>	<p>フォローアップ専門員1名を雇用し、下記について実施した。</p> <p>(1) 函館マリンバイオクラスター事業で進められた研究開発の継続的支援およびクラスター形成の取組や研究成果を広く内外にPRするための各種展示会への出展等の広報・販売促進活動を実施し、成果品の普及を支援した。</p> <p>(2) 国際水産・海洋総合研究センターをはじめとした研究機関と地元企業等のコーディネート活動を通して、函館マリンバイオクラスターを拡充するため、さらなる研究開発の促進，産学官連携の強化および研究開発成果の普及を支援した。</p> <p>(3) 函館市や北海道、北海道大学大学院水産科学研究院と連携し、国に対して後継となる事業（ポストマリンバイオクラスター事業）の獲得に向けた活動を行った。</p> <p>※実施事業の詳細は別紙のとおり。</p>
<p>補助事業等の実施による効果</p>	<p>(1) マリンバイオクラスター事業で進められている研究開発の継続的支援および販売促進活動</p> <p>道内外それぞれで研究開発の取組紹介や開発商品の周知活動を国土交通省事業、道経済産業局事業と連携して実施した。道内では、ビジネスEXPO2014、第20回高専シンポジウムin函館、北海道庁ロビーでの産学官連携パネル展、さっぽろヘルスイノベーション‘Smart-H’平成26年度成果報告会、オホーツク食品開発研究フェア2015、道外では、北海道フードビジネスセミナー、平成26年度地域イノベーションシンポジウム in 福岡、健康博覧会2015等に出展し、それぞれ事業概要パンフレット、成果品パンフレットやレシピ集を制作配布して、事業内容等の認知度アップや成果品の普及に努めた。</p> <p>その結果、鮮度保持技術を活用したバンコクへの鮮魚輸送実験、抗肥満機能性素材であるアカモク粉末の試作、ダルスの利用拡大研究に発展した他、がごめ製品を取り扱うショップの売上が2割増しになる等の効果があった。</p> <p>(2) 研究機関および地元企業等のコーディネート活動</p> <p>研究機関や企業が多く集まる展示の場として、第20回高専シンポジウムin函館、産学官連携パネル展、平成26年度地域イノ</p>

	<p>バージョンシンポジウム in 福岡、さっぽろヘルスイノベーション ‘Smart-H’ 平成26年度成果報告会等において事業内容および研究成果を公表して情報交流や事業成果の普及を図り連携拡大に努めた。また、25年度から交流を始めた韓国湖南地域の全南生物産業振興院と当財団の間で連携協定を締結した。さらに韓国韓国湖南地域から関連企業が来館して函館地域の企業間でのビジネスマッチング行ない、函館の企業から取引の希望が寄せられ本格的な取引の検討に発展している。</p> <p>(3) 大型の競争的研究資金獲得に向けた活動</p> <p>次期大型競争的研究資金獲得に向け、文科省函館マリンバイオクラスター事業の事後評価報告書のとりまとめと現地ヒアリングの開催事務局を担当し、高評価が得られるように努めた。</p> <p>今後の国の大型事業獲得の方策について検討するため、札幌のノーステック財団、とちぎ財団、函館財団の3地域と北海道総合政策部とによる3地域会議に参加した。その結果、26年度は27年度の公募に向けた準備として、函館においては文科省/JST「我が国の未来を拓く地域の実現に関する調査研究」事業を北大水産学部から提案、実施した。さらに本調査研究結果を公表して函館・弘前・帯広との連携の可能性と今後の取組の方向性を示すため、文科省の地域支援企画官、JSTの産学連携担当の執行役を招聘して地域イノベーションシンポジウム～「津軽海峡広域圏」の目指すべき姿は何か～を実施して、函館地域の取組みを強くアピールした。</p>
備 考	

実施事業の詳細

1. セミナー・シンポジウム等の開催

①海藻機能性セミナー

平成26年11月20日(木) ホテル函館ロイヤル(参加者62名)

②健康博覧会出展社プレゼンテーション

「注目の機能性成分～函館の海の恵みフコキサンチン～」

平成27年3月12日(木) 東京ビッグサイト(参加者21名)

③地域イノベーションシンポジウム

～「津軽海峡広域圏」の目指すべき姿は何か～

平成27年3月23日(月) ロワジールホテル函館(参加者82名)

2. 各種展示会への出展

①北海道フードビジネスセミナー

平成26年7月29日(火) ANAインターコンチネンタルホテル東京

②ビジネス EXPO 2014

平成26年11月6日(木)～7日(金) アクセス札幌

③第20回高専シンポジウム in 函館

平成27年1月10日(土) 函館工業高等専門学校

④産学官連携パネル展

平成27年1月29日(木)～30日(金) 北海道本庁舎1階

⑤平成26年度地域イノベーションシンポジウム in 福岡

平成27年2月18日(水)～19日(木) 福岡大学

⑥さっぽろヘルスイノベーション 'Smart-H' 平成26年度成果報告会

平成27年3月6日(金) 京王プラザホテル

⑦健康博覧会2015

平成27年3月11日(水)～13日(金) 東京ビッグサイト

⑧オホーツク食品開発研究フェア2015

平成27年3月19日(木) ホテル黒部はこだてスイーツフェア2013

3. 広報ツールの作成

①函館マリンバイオクラスター商品カタログ

②がごめ昆布レシピ集

③がごめ昆布カード

④フコキサンチン(アカモク)フライヤー(英語版)

⑤春採り昆布フライヤー(英語版)

⑥ダルスのフライヤー

⑦ダルス卓上のぼり

⑧春採り昆布フライヤー増刷

補助事業等の収支決算書

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額 A		本年度決算額 B		増減 (B-A)		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
函館市補助金	4,500,000	4,500,000	4,500,000	4,500,000	0	0	
財団事業費	1,000,000	1,000,000	1,037,700	1,037,700	37,700	37,700	
合 計	5,500,000	5,500,000	5,537,700	5,537,700	37,700	37,700	

支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額 A		本年度決算額 B		増減 (A-B)		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
人件費							報酬, 社会保 険料等
旅費	500,000	500,000	553,890	553,890	△53,890	△53,890	旅費, 招聘旅 費
報償費	60,000	60,000	90,000	90,000	△30,000	△30,000	講師謝礼金
印刷製本費							フライヤー, カタログ 等印刷
コピー機使用料	0	0	57,701	57,701	△57,701	△57,701	コピー機使用料
会場使用料	100,000	100,000	162,740	162,740	△62,740	△62,740	シホ・ジウム開催 会場使用料
消耗品費	0	0	27,900	27,900	△27,900	△27,900	展示会試食品
通信運搬費	0	0	44,346	44,346	△44,346	△44,346	送料
手数料	0	0	35,100	35,100	△35,100	△35,100	参加手数料等
合 計	5,500,000	5,500,000	5,537,770	5,537,770	37,770	37,700	

収支差引額 0円